どんな学校？

課程：　全日制　普通科

二宮町一色の丘の上に立つ、学校の時計台が町のランドマークになっている全日制普通科の学校です。学校からは海と丹沢の山々、富士山が見えるすばらしい立地にあります。英語・数学の少人数制習熟度別クラス編成を取り入れ、きめ細かな学習指導を実現しています。

どんなメンバー？

学　校　二宮高校　部活動有志生徒
(家庭科部、ボランティア同好会)

地　域　二宮町
二宮町民有志
二宮町の小中学校

どんな団体？

〇二宮高校　部活動有志生徒
家庭科部やボランティア同好会など、地域の要請に応じて活動しています。
〇二宮町、町民有志、小中学校
「ガラスのうさぎ」像の飾り付けを行う取組は、町民有志の活動から二宮町による支援に広がっています。
町内の小中学校では平和を祈って折り鶴をつくっています。

はじめたきっかけは？

JR二宮駅前にある「ガラスのうさぎ」像は、町の平和と友情のシンボルであり、平和への関心を高め、二度と戦争を繰り返してはならないという願いが込められています。2010年から「ガラスのうさぎ」像への千羽鶴の飾り付けが町民有志の手により始まりました。
2014年からは町内外から集まった千羽鶴に糸を通して飾り付ける作業に、二宮高校の生徒が参加し、地元の戦禍を自分たちが語り継ぐ番であると思いを抱くようになりました。
また、2018年からは二宮町からの依頼で記念碑文を二宮高校の生徒が英訳し、朗読を披露しました。
現在では「平和と友情のつどい」に有志生徒が参加し、司会、運営、碑文の朗読を行っています。



神奈川県教育委員会教育局指導部
高校教育課高校教育企画グループ

この冊子はホームページにも記載しています

すくコミ！

～コミュニティー･スクール事例集～



学校名　二宮高等学校

活動名　（地域連携部会）
ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい

取組紹介

取組内容

	内　容
1	千羽鶴の飾りつけ
2	生徒の参加
3	現在の取組
4	今後の展望

1 HOP

2010年～

戦争の悲惨さを今に伝える二宮町のシンボル「ガラスのうさぎ」像を千羽鶴で飾り付けるための活動が、町民有志の手で始まりました。

2 STEP

2014年～

活動の担い手の高齢化が進む中、町内外から送られる千羽鶴の飾りつけ作業に二宮高校の有志生徒が参加するようになりました。
生徒は集まった折り鶴に糸を通す作業を通じて、「地元で起きた戦禍を自分たちで伝えていく手助けができれば」と思いを抱きました。

3 JUMP

2018年～

2018年には、若い世代の手で平和のメッセージを海外の人々にも伝えてほしいと二宮町が二宮高校に依頼し、「ガラスのうさぎ」像の碑文を有志生徒が英訳し、朗読を披露しました。
毎年８月５日に開催される「平和と友情のつどい」に有志生徒が参加して、中学生が碑文の朗読を、二宮高校の生徒が碑文の英訳を朗読しています。



4 FLY

二宮町内での行事への参画や地域貢献の活動の幅が広がることで、他者を尊重し思いやる力が育成できました。
今後も、生徒が主体となって活動する取組みを推進するとともに、総合的な探究の時間を活用した地域との交流や、文化祭への地域住民の招待などを通して相互理解を深め、地域との連携を継続的に推進します。

生徒の感想

・今まで知ることの無かった戦争の悲惨さを、このイベントに参加して知ることができて良かったです。
・自分たちが戦争の記憶を語り継ぐ番だと思いました。

地域の感想

・碑文の朗読や運営協力、千羽鶴の制作など、今後も継続をお願いしたい。
・高校生たちが頼もしい。一緒になって記憶をつないでほしい。

先生の思い

明るく豊かな人間性を育み、地域に貢献できる人材を育成したい！